

地域医療連携だより

11月号

2025年第44号



ドクターのお仕事体験（みんなの病院文化祭より）

Topics

- 診療科紹介 循環器内科
- ホスピタルアート「いのちのたね」
- 国際骨粗鬆症財団（IOF）より『Bronze』（銅賞）認定
- 第14回 高松市立病院学会を開催しました

診療科紹介

循環器内科

『みんなで守る心臓の安心』—冬季心不全シーズン到来に備えて—

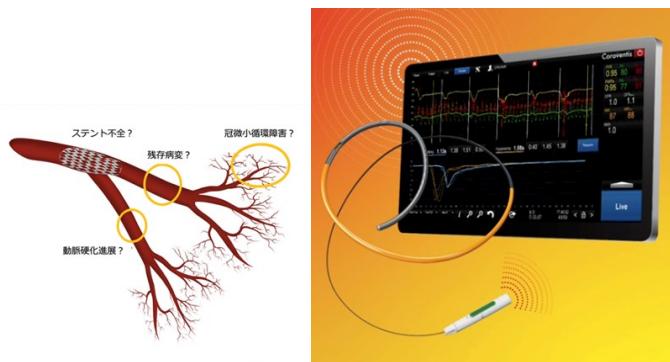
私たち高松市立みんなの病院循環器内科は、地域の皆様の心臓血管疾患の**予防・治療・再発防止**に全力で取り組んでいます。2025年4月からは常勤医師（冠野・藤原）の2名体制となり、寄付講座助教の伊藤を加えた**計3名の医師陣**が入院診療に当たるなど、診療体制を一層強化しました。



近年は猛暑が続いているですが、**冬場は循環器疾患が増加する季節**です。息切れや下腿浮腫、体重増加といった心不全症状、あるいは胸痛の増加が見られる患者さまがおられましたら、早めに当科へご相談ください。

当科の入院症例は心不全が多く、平均年齢は80歳前半と高齢で、複数の慢性疾患を合併する「多疾患併存（マルチモビティティ）」の患者さまが多いことが特徴です。こうした患者様に対しては、生活環境まで含めて一人一人に最適な医療・ケアを提供するため、**多職種で構成する心不全チーム**を設けています。このチームが定期的に回診し、患者さまそれぞれの状態に合わせた最良の医療とケアを実践しています。

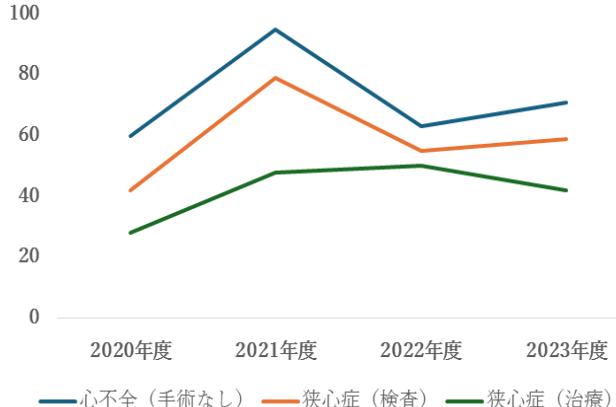
冠動脈疾患診療では、近年注目される「冠微小血循障害／微小血管狭心症（CMD）」の診断が可能です。従来のカテーテル検査では診断できなかった胸部違和感などに対し、アセチルコリン負荷試験やガイドワイヤーを用いた評価を行い、より正確な診断につなげます。これらは国内外のガイドラインでも推奨される検査法です。



<Abbott社ホームページより参照>

年間約50件の心臓・下肢動脈カテーテル治療、約20件のペースメーカ植込術を実施しており、**急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル検査・治療**にも対応しています。紹介いただいた患者さまは迅速に受け入れ、退院後はかかりつけ医の先生方と緊密に連携して在宅療養を支援します。

当科入院患者数 診断分類別上位3疾患の推移



私たちは**予防から急性期、慢性期まで切れ目のない循環器診療**を提供し、地域の心血管疾患における**健康寿命の延伸**に貢献します。診療・検査に関するご相談は、お電話や地域医療・患者支援センターまでお気軽にお知らせください。

(文責 藤原 美佳)

外来担当表

月	火	水	木	金
午前 受付・診療／ 8～11時	伊藤 浩敬	山田 博胤	藤原 美佳	高松赤十字病院 医師
		冠野 昂太郎		
午後 受付・診療／ 13～16時	診療科へお問い合わせください			

ホスピタルアート「いのちのたね」

10/25（土）の病院文化祭に向けた事前制作として、NPO法人コミュナールにご協力いただき、病院の窓に「いのちのたね」を施しました。外から見ると、たねがつながり息吹きのような形を成し、間近で見るとひとつひとつに個性が凝縮されています。

文化祭当日は、多くの方にワークショップに参加していただき、「いのちのたね」をパワーアップさせることができました。



国際骨粗鬆症財団（IOF）より『Bronze』（銅賞）認定

このたび当院のFLS（Fracture Liaison Service：骨折リエゾンサービス）チームの取り組みが、国際骨粗鬆症財団（IOF）が推進する「Capture the Fracture®ベストプラクティスフレームワーク」において『Bronze』（銅賞）の認定を受けました。四国では4施設目、香川県では2施設目となる認定であり、当院にとっても大変意義深い成果です。



骨粗鬆症による骨折は一度発症すると再骨折のリスクが高く、日常生活動作の低下や要介護状態への移行につながります。健康寿命の延伸を目指すうえで「いかに再骨折を防ぐか」は重要な課題です。そこで世界的に広がっているのがFLSの仕組みであり、その合言葉が「stop at one（最初の骨折を最後の骨折に）」です。最初の骨折を契機に、骨粗鬆症の評価と治療を確実に行うことで、次の骨折を未然に防ぐことを目的としています。

当院では整形外科医を中心に、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士、地域医療・患者支援センターの職員等多職種がチームを組み

患者さんが入院された時点から包括的に介入を行っています。骨密度測定や骨代謝マーカーによる評価、骨粗鬆症治療薬の導入・継続支援、栄養指導や運動療法の実践、転倒リスクの評価と予防リハビリ指導などを体系的に行い、さらに退院後は地域のかかりつけ医の先生方へ情報を確実に引き継ぐ体制を整えています。

今後はこの連携をさらに強化するために、電子カルテ情報共有システム「バイタルリンク」を積極的に活用する計画です。バイタルリンクを通じて治療内容や検査結果をリアルタイムで共有し、かかりつけ医の先生方と当院がシームレスに連携できる環境を整えることで、治療の中断を防ぎ、再骨折予防の質を高めていきたいと考えています。

骨折リエゾンサービスは一施設だけで完結するものではなく、地域全体で取り組むことで初めて成果を上げることができます。今回の「Bronze」認定はその第一歩に過ぎません。今後はより高い評価を目指しつつ、地域の先生方と共に香川県における骨粗鬆症診療の標準化と再骨折予防を推進してまいります。

今回の認定を励みに、合言葉「stop at one」を胸に、最初の骨折で止める医療を実現し、患者さんの健康寿命延伸に一層貢献してまいります。

（文責 吉田 雄介）





地域医療・患者支援センターからのご案内

第14回 高松市立病院学会を開催しました

高松市立病院学会は、本市の市立病院である、みんなの病院と塩江分院の職員で構成されています。病院間及び職種間の理解と交流を深め、組織の活性化と職員のレベルアップを図ることを目的として、平成24年度から毎年開催しており、今年で14回目となりました。

医療局を始めとする各部署から応募のあった一般演題及び特別講演として愛知県常滑市の元病院事業管理者、現在は医療法人宏友会 統括顧問兼相談役である野中 時代 先生をお招きし、「職場の活性化と働きやすい職場つくりをめざして～一人ひとりが主役、頑張れ自分～」と題した特別講演が行われました。

当院では、広報紙等のデジタル化等への変更を、こちらのQRコード、メール、お電話にて隨時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

広報紙、セミナー等のお知らせは、当院のホームページにも掲載しております。

変更等はこちらから→



FAX予約をお願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分 土曜日 9時30分～13時00分	※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表)／(087)813-6699(紹介予約専用)	
FAX	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル)	※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。



左 一般演題最優秀賞表彰 吳 哲彦 医師
(演題:当院におけるクライオバイオプシー(経気管支凍結生検法)の現状と成績)

右 業績表彰 吉川 幸造 医師

【問い合わせ先】

地域医療・患者支援センター 橋本・杉原
087-813-7171(代)
spau66r9@dance.ocn.ne.jp